

渡良瀬川だより

No. 210

令和5年1月4日発行

国土交通省 関東地方整備局

渡良瀬川河川事務所 地域広報官



「地域とともに歩む渡良瀬川」を目指して

渡良瀬川河川事務所長

檜森 裕司

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素より渡良瀬川河川事務所が所管しております河川・砂防行政に格段のご理解とご協力を賜り、あらためて御礼申し上げます。

昨年は、昭和22年に渡良瀬川流域に甚大な被害をもたらせたカスリーン台風から75年の年でした。カスリーン台風以降、地域の皆様のご理解・ご協力により岩井分水路や堤防の整備をはじめとする河川の整備、草木ダムや砂防施設の整備が進み、当時と比べれば渡良瀬川の治水安全度は格段に向上しております、また、長年の課題でありました中橋の架け替え工事に着手するなど、大きく歩みを進めることができました。

しかしながら、まだまだ「渡良瀬川は安全・安心な川になりました」と言える状況ではありません。近年全国で毎年のような水災害の発生、気候変動の影響による水災害の更なる激甚化・頻発化を考えると、河川・砂防施設等の整備を加速化していくことが必要であり、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、渡良瀬川や支川の堤防整備や河道掘削、砂防施設を整備していく必要があります、今後ともご理解・ご協力を得ながら進めてまいりたいと考えています。

また、整備の加速とあわせ、氾濫域を含めた流域全体のあらゆる関係者が協働して流域全体で水災害を軽減させる「流域治水」の取り組みを一層進めてまいりたいと考えております。さらに、河川整備は「洪水を安全に流す」、「被害を軽減する」ことはもとより、地域の活性化につながることも重要と考えています。周辺のまちづくりや自治体の計画と一体となった整備や一工夫を加えることにより、さらに地域に喜ばれるものになると考えており、渡良瀬川が「より愛される川」になるよう、地域と連携しながら進めてまいりたいと考えています。

最後に、引き続き皆様方の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、令和5年度が皆様にとって幸多き年になることを祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



渡良瀬川にかかる中橋

中橋架替工事起工式について

足利市の中心部で渡良瀬川を渡る中橋は昭和11年に架設された橋梁ですが、上下流の堤防について嵩上げなどが行われたものの、中橋は架設当時の状態のままであるため、堤防が切り欠いた状態となっており、渡良瀬川の治水上の課題となっています。また、朝夕を中心にJR両毛線の踏切前後で交通渋滞が発生し、歩道が狭く十分な自転車通行空間が確保されていないなど、道路橋としての課題もありました。

令和3年度から国、栃木県、足利市の共同で、堤防と橋梁の高さ不足解消とまちづくりが一体となった中橋の架替事業に着手していましたが、令和4年11月に工事着手の運びとなったことから、地元国会議員、栃木県知事、足利市長、県・市議会議員、自治会長等に参加いただき、起工式を開催しました。

鍬入れ式

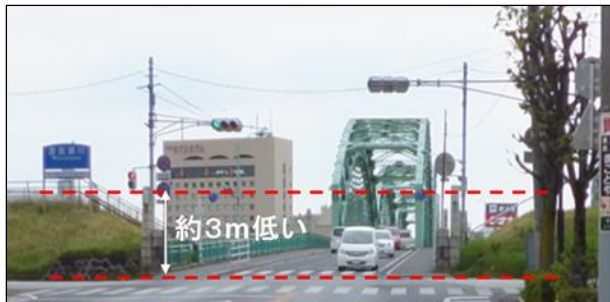


ご来賓の皆様からは、「激甚化する自然災害に対する備えは早期に進めるべき。安全かつ出来るだけ早い完成をお願いします。」「美しく自然に溶け込む橋を残して改築するのを楽しみにしている。」「安全・早期に進めて市民の暮らしと命を守れる中橋になってもらいたい。」等のお言葉を頂きました。

これに対し主催者からは、工事着工までにご協力頂いた皆様への感謝と安全・早期に工事を進める決意等を述べさせて頂きました。



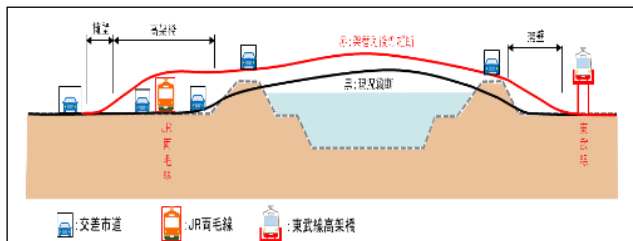
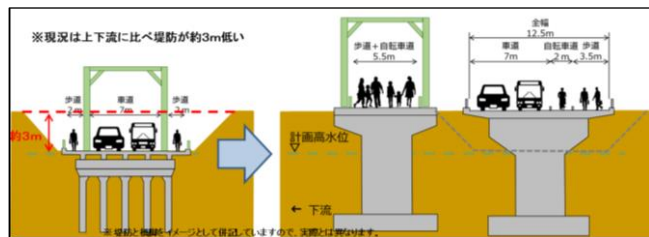
堤防を切り欠いた中橋の状況



工事の状況



嵩上げによる改善イメージ



令和4年度 第1回 利根川水系渡良瀬川河川整備計画 フォローアップ委員会について

～11月22日に河川整備計画フォローアップ委員会を開催しました～

国土交通省関東地方整備局では、利根川水系渡良瀬川の大管管理区間を対象とした当面の河川整備の目標と具体的な実施内容等を示した「利根川水系渡良瀬川河川整備計画【大管管理区間】」を平成29年12月に策定し、河川整備等を実施しています。

策定した河川整備計画の点検を行うにあたり、令和4年11月22日に「令和4年度 第1回 利根川水系渡良瀬川河川整備計画フォローアップ委員会」を開催しました。

■フォローアップ委員会の目的とは

- ①河川整備計画策定後、社会情勢の変化や地域の意向、河川整備の進捗状況や進捗の見通し等を適切に反映できるよう河川整備計画の点検を行うにあたり、河川に関し学識経験を有する方々等の意見を聴く。
- ②河川整備計画に基づいて実施する事業のうち、事業再評価の対象となる事業について、対応方針(案)の審議を行う。(今回は渡良瀬川直轄河川改修事業を対象)

■審議結果は以下のとおりとなりました。

①河川整備計画の点検

現時点では流域の社会情勢に大きな変化はなく、現在の河川整備計画の目標達成に向け予定されている整備メニューを着実に実施していくとともに、気候変動を踏まえた治水計画の見直し検討や流域治水の自治体等との更なる連携も進めていく。

②渡良瀬川直轄河川改修事業に対する事業評価

当該事業は、現段階においても、災害の発生の防止又は軽減を図る目的における必要性は変わっておらず、引き続き事業を継続することが妥当。



フォローアップ委員会の様子

(担当 調査課)

補正予算について

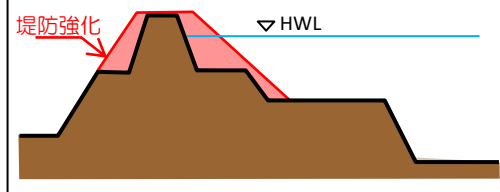
令和4年度補正予算を活用して渡良瀬川河川事務所管内でも国土強靱化5ヶ年加速化対策として、渡良瀬川本川下流部の堤防強化や支川旗川の河道掘削による流下能力拡大などの工事を実施します。

渡良瀬川上流部では、河岸が削られている箇所対策や川の中の樹木を伐採するなどの事前防災対策も実施します。

また、渡良瀬川最上流部において砂防工事も実施します。日光市足尾地区では既設砂防えん堤の改築工事及び床固群工事、みどり市花輪地区では床固群工事の進捗を図り土砂災害に対する安全度を高めていきます。



【堤防強化の築堤(イメージ)】



『せせら』からのお知らせ

～サケの赤ちゃんが元気に育っています～

令和4年12月4日に予定していましたが、受精卵配布会は中止となってしまいましたが、「佐野市渡良瀬川にサケを放す会」様のご厚意でサケの受精卵を分けて頂きました。心化が始まってから6日間のうちに、ほとんどの卵から仔魚(しぎょ)【ひれや骨格ができるまでの魚のこと】がかわいい姿を現してくれました。仔魚は元気に水槽を動き回っています。

▼サケの飼育日記展示



12月 14日 水曜日 10日目

ついにサケの赤ちゃんが1匹(受精卵が1個)孵化しました!! からだは透明でお腹の卵黄(栄養の袋)を重そうに抱えています。しばらくの間は、この卵黄から栄養をもらうのでエサは食べません。



12月 16日 金曜日 12日目

孵化が始まってから2日間のうちに卵は次々と孵化していました。水槽内の卵の約4分の1から仔魚が可愛い姿を現しました。仔魚は元気に水槽の底を動き回っています。

★生まれたてのサケの赤ちゃんを仔魚とよびます。

サケを見学したい方は「せせら」広報員にお声がけください。

また、当事務所Twitterで成長の様子を情報発信していますので、ぜひご覧ください。

アクセスはこちらから→



▼管内展示

12月9日に足利市立毛野南小学校3年生の皆さんが来館されました。

令和4年度企画展「自然災害はくり返す」カスリーン台風が渡良瀬川を襲った当時のニュース映像



令和4年度企画展「自然災害はくり返す」防災展示



わたらせ川のふれあい館「せせら」

(エコアールグリーンプラザ3階)

栃木県足利市岩井町465-1 TEL&FAX 0284-44-3001

◆開館時間

4～6月・9～3月

平日・休日ともに10:30～16:00

7～8月 平日・休日ともに 9:30～16:45

◆休館日

4～6月・9～3月は毎週月・木曜日

7～8月は毎週木曜日 (祝日の場合はその翌日)

※年末年始(12/29～1/3)

◆入館料/無料



『せせら』では、渡良瀬川の治水・砂防事業、渡良瀬川にまつわる歴史、周辺の豊かな生態系などについての学習ができます。自然災害への「備え」について学べる企画展は3月30日まで開催中です。土日も開館していますので、ぜひご来館ください。

(担当 総務課)



国土交通省関東地方整備局
渡良瀬川河川事務所

〒326-0822

栃木県足利市田中町661-3

<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

TEL: 0284 (73) 5551

FAX: 0284 (73) 8504



川のふれあい館『せせら』全景

紙面についてのご意見や感想をお待ちしています。パソコンからは渡良瀬川河川事務所ホームページの「お問い合わせ」からご投稿いただけます。電話・FAXは左記番号へ、郵便の場合は左記住所「渡良瀬川河川事務所地域広報官」宛でお願いします。

川の防災情報

リアルタイムの雨量と水位を知りたい時は

<https://www.river.go.jp>

